

実施クラス			実施日				実施保育者名
4.5	歳児	ばら、ひまわり組	5	月	2	日 (月)	砂子 真利亜

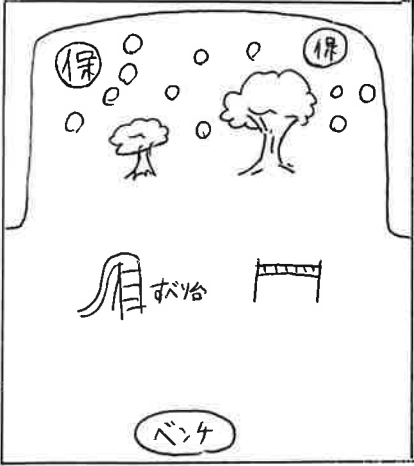
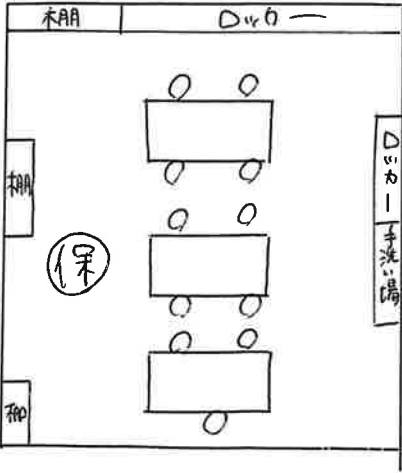
● 実施計画

活動テーマ

虫を探しに行こう

活動テーマに関する 日頃の興味関心について

昆虫図鑑を見て虫や生き物に興味を持っている様子。散歩先で昆虫を見つけると嬉しそうに観察する姿が見られる。

活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00	・朝の読書の時間に昆虫図鑑を見て、どんな虫がいるのかを知る。 ・散歩先へ到着。虫取り網、虫籠、図鑑の使い方を確認し、探索開始。 ・虫探しをする。捕獲し、観察する。	＜公園＞ 
11:20	・帰園。 ・捕まえた虫を近くでよく観察する。	（持ち物）虫かご、虫取り網、図鑑
11:30	・図鑑で何の虫なのか、近くでよく観察をする。図鑑で調べる。	＜室内＞ 

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
・実際に図鑑で見た昆虫を公園へ探しに行き、捕まえて観察をした。また、図鑑でどんな食べ物を食べるのかななどを調べ、子どもたち同士で共有をした。	・図鑑でどんな昆虫を捕まえたいかななどを事前に子どもたち同士で話し合っていた。また、虫取り網や虫籠、手持ち図鑑などを自分たちで身につけて探索しに行くことをとても楽しみにしていた。実際に公園でチョウチョなどを見つけると、捕まえる係、虫籠を持つ係などを子どもたち同士で順番で決めて活動を楽しんでいた。捕まえた昆虫は園に持ち帰り、昆虫図鑑で調べたり観察したりなど嬉しそうにしている姿が見られた。じっくり観察した後は可哀想なので自然に帰してあげようとの声上がり、笑顔でお別れをしていた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
生き物について興味があり、普段から楽しそうにじっくりと図鑑を読む姿が見られていた為、実際に公園で昆虫探索をすることが出来てよかった。当番活動を通して虫籠を持つ係を決めたり、1人ずつ手持ちの昆虫図鑑を持って行ったりと探索に対する期待感を持つことができた。捕獲した昆虫たちは観察し、図鑑で調べていくうちに昆虫にもご飯が必要なこと、命があることに気づき、子どもたちの方から逃してあげたい、と話ず姿があった。	虫探しなどの探索活動は、子どもたちにとってただの遊びではなく、学びの宝庫である。自然とのふれあいを通じて、感性や好奇心、協力の精神を育むこの活動を、今後も大切にしていきたいと考える。

キッズスマイル江東北砂

実施クラス	実施日	実施保育者名
4.5 歳児 ばら・ひまわり組	9 月 25 日 (木)	砂子 真利亜

● 実施計画

活動テーマ

たべもの ~ 食べる ~

活動テーマに関する 日頃の興味関心について

- 食材ごとに役割があることに気づき、その役割と自分の身体とのつながりを探究し、食べることの大切さに気づく。

[illegible]

2025 年 12 月

探究保育 活動報告書

キッズ スマイル
江東北砂

実施クラス				実施日				実施保育者名
45	歳児	ばら・ひまわり	組	12	月	10	日 (水)	砂子真知由

● 実施計画

活動テーマ

アート ～ 名画を描いてみよう～

活動テーマに関する 日頃の興味関心について

、ゴッホの名画、ひまわり、などアート図鑑を見て、アートの世界に興味を持っている様子。

活動スケジュール

環境設定 ・ 準備物

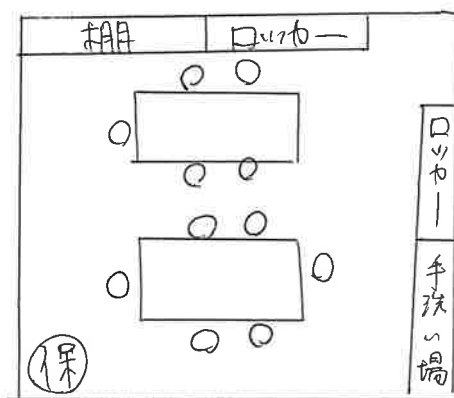
時間

内容

10:00

、ゴッホの名画、ひまわりの糸巻をよく観察して、色合いやどんな色が使われているかを考える。

、自分なりに必要な色を使って、表現を楽しんで描く。



準備物: アクリル絵の具

● 実施報告	
探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
、アート図鑑を見てアートの世界に興味を持つ。 、ゴッホの名画「ひまわり」を題材に、本物を観察しながら塗り絵や続きを描き足すことで自分だけのオリジナル作品を仕上げる。	、ひまわりの色や様子に興味を示して友達同士で話す姿が見られた。 、使われている色を聞き、子どもたちの「気づき」に繋がるようにした。

● 振り返り	
保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
、ひまわりの色や形、花の様子などに気づけるような問いかけをすることで子どもの気づきに繋がることわかった。 、また、子どもの感じたことに共感することで自由な表現に繋がることわかった。	

実施クラス	実施日	実施保育者名
4.5 歳児 (ばら、ひまわり 組)	2 月 13 日 (金)	砂子 真利亜

● 実施計画

活動テーマ

おかね ～ おかねってなんだろう～

活動テーマに関する 日頃の興味関心について

子どもたちが遊びや実体験を通して、お金や物との健全な関わり方を学ぶ。

活動スケジュール

環境設定 ・ 準備物

時間

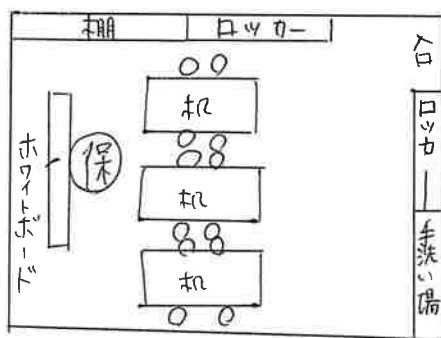
内容

10:00

ホワイトボードのイラストを見て知っているお金について話し合う。

1円～10000円までのお金の単位を保育者から学ぶ。

1円が何枚で何円、というようにクイズ形式でお金についてゲームで話し合う。



● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
、知っているお金を発表し合い、実際にお買物に行くときにはいくら必要になるのか、千円札、100円何枚、など「グループ」ごとに考えた。お金の数字はわかりやすいように小さい数からにし、どんどん大きくすることで少しずつ理解を広げられるようになった。	1~10000円とホワイトボードでイラストを使って単位をわかりやすく示した。 1円が何枚で何円、というようにクイズ形式でお金についてグループで話し合い、発表をした。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
クイズ形式にしたことで、子どもたちも楽しんで参加し、お金について考えていた。 わからない場合は指で数えて数えていた。	